

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無		
体育学部	准教授	吉川望				
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
文学		令和4年4月～現在	ハンドアウトやスライドに視覚的な資料を取り入れて、文学の世界に親しみを感じながら理解を深められるようにしている。また、毎回の授業で記述式の課題 (小レポート) を課し、次の授業の冒頭で回答例に対する講評・解説を行っている。これにより、小説作品を能動的に読んで考えることを促そうとしている。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初 (始) 頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
『プレミアムカラー 国語便覧』	監修者：足立直子・二宮美那子・本廣陽子・森田貴之 著者：伊藤円・岡本訓子・加藤香恵・河村瑛子・坂口太郎・吉川望ほか10名	218～219頁、220～221頁、222～223頁、224～225頁、226～227頁、228～229頁、236～243頁、244頁、245頁、246～249頁、256頁、257頁、260頁、266～269頁	数研出版	日本	平成29年11月	
『日本文学 中のキリスト教11』 (『日本文学の中のキリスト教11』)	김은영・김정희・박상도・이평춘・조사옥・하태후・홍명희・網野薫菊・北田雄一・金承哲・山根道公・山本歩・吉川望/韓国日本基督教文学会編	351頁～372頁	JNC出版	韓国	平成31年8月	
『遠藤周作事典』	川島秀一・山根道公・池田静香・井上万梨恵・今井真理・吉川望ほか72名/遠藤周作学会編	176～177頁、259～260頁、280頁、286頁、326頁、292～293頁、299～300頁、335頁、370～371頁、376頁	鼎書房	日本	令和3年4月	
『文学国語』 教授資料3 (3第章・前)	斎藤理生・吉川望ほか30名/数研出版株式会社編集部	173～203頁	数研出版	日本	令和5年	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含まない。)						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
「学界動向」平成30年 国語国文学界の動向 近代散文	吉川望	全国大学国語国文学会	第230号	59頁～62頁	令和2年12月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月
研究ノート	内田百閒「白子」論——信仰をめぐる〈内心の反駁〉——	単 吉川望	日本文藝研究	第68巻特別号	95頁～112頁	平成29年3月

随筆・随想	「随想」遠藤周作『彼の生きかた』についての断想——寂しさの芯に触れて——	単	吉川望	始更	16号	54頁～59頁	平成30年10月
研究ノート	遠藤周作『彼の生きかた』論——メタファーの破れ目をめぐって——	単	吉川望	キリスト教文藝	第36輯	73頁～90頁	令和2年7月
研究ノート	習作期における内田百間の文学意識——「俳諧派文学研究」検討（一）	単	吉川望	日本文藝研究	第73巻2号	135頁～156頁	令和4年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国際	平成29年9月	韓国日本基督教文学会	芥川龍之介「白」論——にもかかわらず齎された恵み——	国立仁川大学（韓国）	吉川望
国内（一般演題）	平成30年9月	日本キリスト教文学会中部支部	芥川龍之介「白」の材源をめぐって	南山大学	吉川望
国内（一般演題）	令和1年7月	日本キリスト教文学会関西支部	遠藤周作『彼の生きかた』論——メタファーの破れ目をめぐって	関西学院大学	吉川望
国内（一般演題）	令和4年9月	日本キリスト教文学会中部支部	内田百間におけるメーテルリンク文学の撰取	オンライン	吉川望

科学研究費等の取得状況

科学研究費／その他の助成金／外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
科学研究費	研究活動スタート支援	内田百間文学の幻想性の萌芽に関する研究—写本文から幻想小説への転向をめぐって	代表	令和2年度～令和5年度	1,430,000
選択			選択		

特許

特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成11年～現在	日本キリスト教文学会（平成24年～現在：関西支部運営委員、令和3年4月～現在：本部事務局長）
平成13年～現在	日本近代文学会（会員）
平成14年～現在	日本文藝学会（会員）
平成16年～現在	阪神近代文学会（平成24～28年：運営委員）
平成18年～現在	国際芥川龍之介学会（会員）
平成20年～現在	全国大学国語国文学会（会員）
平成24年～現在	日本リメディアル教育学会（会員）
平成30年～現在	遠藤周作学会（会員）

社会的活動

平成〇年〇月～平成〇年〇月	
平成〇年〇月～平成〇年〇月	

Ⅳ 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
特別プロジェクト活動	

Ⅴ クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	部	2. 役職	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	選択	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない		
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日

6. クラブの競技力向上への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
8. 部員の就職指導への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)				
開催期間	大会名		成 績	場 所
VI 賞罰 (職務に関する賞罰)				
年 月	受賞等機関名	内 容		備 考